



# ふくさぽねっと!

外国の絵本 40冊  
日本の絵本 20冊

展示

## 外国語の絵本展

好きな絵本に  
人気! ビー玉投票開催♪

日時 6月17日(木)~21日(月) 10時~17時(最終日16時まで)

会場 しものせき市民活動センター 多目的ホール

入場・参加  
無料



6月20日(日)だけの ☆スペシャルイベント☆

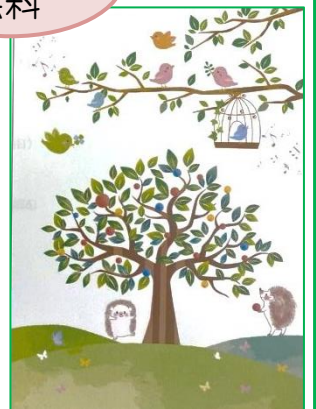
絵本の読み聞かせ 10時~11時30分

\* 協力 カナダ友好協会 下関支部 仲 慎太郎氏  
生野あそぼう会 井上 幸子氏 他

定員 40名(要予約)

締切 6月15日(火) 定員になり次第締切り

会場 しものせき市民活動センター 多目的ホール



## \* プロに学ぼう! 『実践!紙芝居講座』 \*

“盛り上がる!紙芝居のコツ”を楽しく面白く学びませんか

日時 6月20日(日) 13時~15時

会場 しものせき市民活動センター 大会議室

講師 田丸 楓氏(声優・ナレーター)

- 対象 市民活動団体・市民活動に興味のある方
- 定員 40名 要予約(先着順)
- 締切 6月15日(日)(定員になり次第締切り)

参加費  
無料



◇講師 プロフィール  
田丸 楓氏

声優/ナレーター。  
東京で20年以上活動。



これまでの主な仕事は、テレビ番組ナレーション、ラジオCM、各種施設案内アナウンス、音声ガイダンス、カーナビ音声、企業VP、日本語・外国語教材など。  
2016年地元山口県にUターン。  
『朗読ハウスもがも家』代表。

しものせき市民活動センター ふくふくサポートフラップ

下関市竹崎町四丁目4番2号ヴェルタワー下関2階

URL <http://fukusapo.net/> mail [info@fukusapo.net](mailto:info@fukusapo.net)

TEL 083-231-1826

FAX 083-232-1881

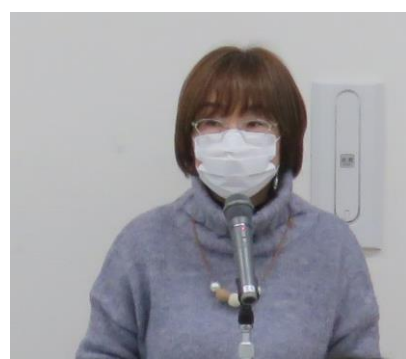
# プロに学ぼう！『読み聞かせのコツ』講座



～もっと楽しく・もっとおもしろく～

2月17日（水）、講師に田丸楓氏（声優・ナレーター）を迎え、「読み聞かせのコツ」講座を開催しました。絵本「三びきの やぎの がらがらどん」の一部を教材として、読む前にこの絵本を自分ならどう読んで伝えていくか計画を立てること、そして最初に読むタイトルをどう読んでいくかが一番大事であることを話されました。そして、一人ひとりが読み、田丸氏にアドバイスをさせていただきながらの進行でした。みなさん普段から読み聞かせをされているので、大変上手に読まれていました。

参加者からは「読み方や、イメージの仕方、コツを一つ一つ丁寧に教えていただいて、とても参考になりました。」「読み方や間の取り方が本当によくわかりました。読み聞かせを始めたばかりなので教えていただいて本当によかったです。」「楽しくわかりやすい内容でした。具体的なアドバイスが参考になりました。」「等、とても勉強になったと多くの意見がありました。



## リーダーシップ研修・会場&オンライン開催！



3月14日（日）に、藤本ひろみファイナンシャルオフィス代表の藤本ひろみ氏を講師に迎え、リーダーシップ研修「人間力とは ～リーダーが変われば組織が変わる～」を開催しました。今回、会場とオンラインによる同時開催の講座はセンターとして2回目の試みでしたが、会場では4つのグループ、オンラインでは2つのグループに分かれ、グループでのワークを交えながら研修が進められました。

講義では、リーダーシップの意味やリーダーの条件のほか、「変えられるものと変えられないもの」（自分でコントロールできるものとできないもの）を踏まえて、相手の気持ちを汲み取る力を身につけ、考え方と行動の質を向上させる方法について学びました。また、実践編として3つのケースを挙げて、会場参加者の中から悩みを持つ側とアドバイスをする側に分かれてそれぞれの役割を演じた後、相手と関わるポイントについて具体的に教えていただきました。

オンラインについては課題が残りましたが、会場参加者のアンケートでは、「相手のことを理解する、“よくきく”ということとはどんな集団でも大事だと思った」や「思いやりの心を習慣化できるようにしたい」などの感想をいただき、日々の習慣の中で人間力を高め、家庭や組織においての人間関係を良好に保つ方法を学ぶ研修となりました。



女性いきいき大賞～優秀賞（山口新聞社賞）～  
受賞おめでとうございます！



「サンタプロジェクト It's Nakama」 代表 東條 麻希



2009年に始めたクリスマスチャリティイベントが活動の原点であり、県内の児童養護施設との連携を取り、希望に従ってボランティアを派遣し、お手伝いをしたり、年間を通してイベントにて募金を募り、子ども達ひとりひとりへクリスマスプレゼントを届ける等の活動をされています。また、社会に出て孤立しない様、就職のサポートや企業向けの説明、アルバイト確保にも取り組んでおり、365日のうち、1日でも1時間でも誰かのサンタになってくれる人がたくさんいる暮らし、大人が子どもを見守る街、地域を目指されています。



☆☆東條代表のこれからに向けて☆☆

子ども達と関わり始めて、今現在もそして未来も目的は何も変わる事はありません。おじいちゃんおばあちゃんのような暖かさ、姉のような親しみやすさを目指しながら長くできる事を地道に頑張っております。末永く応援宜しくお願いいたします。



登録団体さん

今どうしてる？ 子ども編



今回は下関市内の各イベントで大活躍していた“ママプラスバンド いしんぴよびよ隊”と発達障害のお子さんを持つ“ペアレントメンターの会”についてお知らせします。

ママプラスバンド  
いしんぴよびよ隊

イベントがなくなり、コロナ発生後は3件のみの出演。練習も分散またはテレワーク中心です。



子育て支援でのソーシャルディスタンス確保、表情の見えない対面支援の難しさもあります。

楽器の飛沫対策等のコロナ対策をし、ステージやテレワーク合奏の動画を発信中。

今後はステージライブ配信を検討しています。

楽しみにしています。❤️ ❤️

発達障がいを語ろう！  
下関ペアレントメンターの会

コロナ感染で外出が制限されるのは障害のある子どもたちには大きなストレスとなりその対応に親子共々苦勞する毎日です。



コロナ対策をしたうえで、縮小しながらも毎月の例会を継続していくことが一番なのかと思っています。

話す内容は、日頃の生活場面の些細なことや、小学校、幼稚園などにおける我が子の居場所作りです。子どもの特性を先生に理解して対応してもらう為にも関係づくりは重要です。

毎回、話は盛り上がりとても有意義な時間となっています。



## 「生野あそぼう会」

代表 井上 幸子氏



### 親も子もつながって地域で共育ち

私たちは生野小学校体育館を借りて毎月第1第3水曜日の放課後に集団あそびや子どもたちの居場所づくりを行っています。

またコロナ禍で今年度はなかなか実施できませんでしたが、日祝日の集団体験活動もできる限り行っています。学校週五日制で第2土曜日がお休みになった1991年に母親仲間ですスタートしたこの活動もいつのまにか30年経とうとしています。携わる私たち自身の環境もさまざまに変化しスタッフとして参加してくれる大学生や保護者の方々との様々な出会いによって教えられることも多々ありました。



何よりも子どもたちとあそびあい、語り合い、日々の成長に触れられることは何物にも代えがたい喜びで、私たちの方が育ててもらっているねと仲間と話しています。その後の社会的ニーズにより行政支援もあって山の田小学校や山の田中学校にもとりくみの輪が広がっています。



私は、小学生たちの声を聴き姿を見て、中学生になっても地域との関わりが大切だと思っていたので、具体的にとりくめるようになり、ますます思いを強くしています。安心して自分を出せる場、多彩な人たちとふれあえる場が日常的にあることが子どもたちの成長の支えになるように思うからです。

今後も担い手の輪を広げ助け合いながら楽しく元気に活動を続けていきたいと思っています。



### 次号へのバトン

#### 「認知症予防ネット下関」

代表 波戸崎 みゑ子 氏

井上 幸子氏  
ご紹介

「認知症予防ネット下関」の波戸崎みゑ子さんは、高齢者が明るく元気に認知症予防ができるようさまざまな手遊びや運動などハツラツとしたパフォーマンスで広めていらっしゃいます。

次号をどうぞお楽しみに！

